

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)案

平成 28 年 1 月 12 日

協議会名:本別町地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
本別町	<p>・太陽の丘循環バス南回り(町国保病院～南地区～本別道の駅～町国保病院)</p> <p>・太陽の丘循環バス北回り(町国保病院～北地区～本別道の駅～町国保病院)</p> <p>・太陽の丘循環バス直行便(町国保病院～活性化センター～本別道の駅)</p> <p>・太陽の丘循環バス近道便(町国保病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)南北地区～町国保病院)</p> <p>・太陽の丘循環バス南大回り(町国保病院～南地区～本別道の駅～北地区～町国保病院)</p> <p>・太陽の丘循環バス北大回り(町国保病院～北地区～本別道の駅～南地区～町国保病院)</p>	<p>バス利用者や国保病院への通院患者などへの聞き取りやアンケートなどによるニーズ把握から、国保病院や中心市街地からの帰宅利用のニーズに対応すべく運行形態の見直しを行った。</p> <p>※H28ネットワーク計画掲載 ※H27.10～実施</p> <p>【説明】 昨年度の事業評価において、午後の時間帯における帰宅時の運行形態の見直しが必要としておりました。 H27.6.25公共交通会議においてご承認いただいたとおり、運行経路の変更(バス停新設含む)とともに、運行形態の見直しをH27.10から実施することとし、H28ネットワーク計画に反映しております。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p> <p>【説明】 H27生活交通ネットワーク計画に基づく事業が適切に実施されたかを3段階で評価します。</p> <p>H26.12.17の爆弾低気圧による暴風雪のため、午前の5便が運休となりましたが、その他は計画どおり運行できたことから、「A」評価としております。</p> <p>【参考(3段階評価)】 A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 B:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 C:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。</p>	<p>A 平成26年度実績において、前年比9.9%の利用者数減であったが、H26.4の運行ダイヤ見直しとその定着により、平成27年度の年間利用者目標13,058人に対し、17,011人であった。</p> <p>【説明】 H27生活交通ネットワーク計画に位置づけられた定量的な目標・効果が達成されたかを、3段階で評価します。</p> <p>記載のとおり、大幅に利用者数の増加となり、目標達成されたことにより、「A」評価としております。</p> <p>【参考(3段階評価)】 A:事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 B:事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった。 C:事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。</p>	<p>国保病院や中心市街地からの帰宅利用者のニーズに対応するH27.10以降の運行形態見直し後の検証が必要である。 ※直行便1便・南回り1便・北回り1便減便 ⇒近道便3便増便</p> <p>現利用者を中心に、中心市街地へ「ひと」を集める運行ルートが定着してきているが、新規利用者の開拓のため、地域内における多様な連携により、更なる定着と利用者増に向けた取り組みを検討する。</p> <p>【説明】 H27.10以降の新しい運行形態の検証と新規利用者の開拓を課題として捉えております。 今後も利用者ニーズの把握に努め、認知度を高める取り組みやバス利用促進の啓発に取り組んで参りたいと考えています。</p>